1953年6月16日　第三種郵便物認可

2025年12月8日（月）3199号　隔週月曜日発行

民主青年新聞

DEMOCRATIC YOUTH NEWSPAPER

みどころ
第49回全国大会決議　4～8面
『空想から科学へ』（下）　3面
大会への日本共産党・小池晃書記局長のあいさつ　10、11面

▶ホームページ www.dylj.or.jp　▶Eメール minsin@dylj.or.jp

歴史的情勢の新しい局面を さらに前進させる民青へ

第49回全国大会

11月22日～24日、民青同盟は第49回全国大会を開催しました。大会中に50人が加盟し、第48回大会期の拡大数は3736名となりました。47回大会期の拡大数から485人増やし、5大会連続で拡大数を前進させました。現勢は8458名となり、48回大会時より約1600人の増加となりました。歴史的情勢の新しい局面の下で迎えた全国大会。各地で青年を仲間に迎えてきた同盟員の奮闘などが報告されるとともに、歴史的情勢を前向きに突破していくための展望や決意なども語られました。

（塩田悠玄記者）

分け入ってでの加盟0人から18人へ

大会一日目の討論から、大会決議案の豊かな実践の経験が語られました。討論の内容は、参加者に真正面から受け止められました。

千葉で役員をしている、にいだ評議員は、援助している地域班を発展させ、歴史的情勢にふさわしい同盟の前進をつくるため、仲間を迎えられる役員になろうと奮闘してきましたが、昨年の分け入ってでの加盟立ち合いは0人。そこから48回大会期では18人もの加盟に立ち合うまでに変化しました。

仲間を迎えられる役員に成長した契機の一つについて、にいだ評議員は「県主催の分け入って研修に参加した際、民青新聞の『「目的」と基本的性格を形づくった歴史と理論』（2024年8月26日付）を学習した。青年の根本的な要求とかみ合うように同盟が発展してきたことを知り、民青の魅力が深まった。青年の要求と民青の活動は必ずかみ合うはずだと、加盟対話の前向きなイメージが持てた」と発言。「研修では『弁証法的な対話になっているか』『不安要素を打ち消そうとするのではなく、やりたい思いに光を当てて励ませているか』などを確認した」とも発言。仲間をどうしたら迎えることができるのかが言語化されたというにいだ評議員は、研修後の実践で3人の青年を仲間に迎えることができ、大きな自信になったといいます。また、自身の成長が、班援助や班活動の発展に生かされていることについても発言しました。

「五つのステップ」でたたかう班に

東海地方の学生のAKIRA評議員は、昨年から、学費値下げを求める学生有志の会を学内で立ち上げ運動してきたことについて発言しました。「草の根で青年の要求実現のためにたたかう班」になるための「五つのステップ」を討議し、運動を発展させてきた経験を紹介。自身の研究に引きつけながら、『五つのステップ』は、計画・実行・ふり返りと、研究室での実験に通ずるものがある。私は、決議案のようなプリセット（事前の設定）があれば、そこから自分でアイデアを出して発展させていくのが得意。『五つのステップ』によって、学費値下げ運動でアイデアをどんどん出して、みんなで練り上げて形にしていくプロセスを楽しむことができている」と発言しました。

埼玉の黒田宙代議員も、「五つのステップ」の具体化として、班が力を合わせる若者憲法集会実行委員会で、憲法や平和に関する本を持ち寄って、道行く人にその場で読んでもらう「路上読書会」を複数回行いながら、工夫を加えていった地域班の経験を紹介。「軍事費の増大が進められている下で、自分たちの班が平和を求める声を可視化させていくことが大事」と発言しました。

「二つの異常」への共感広がる

京都府委員長の寺島拓人代議員は、「今日も5人の仲間を迎えた。今（48回）大会期、現時点で359名の仲間を迎え、350人の拡大目標を達成した」と冒頭に発言。会場は大きな拍手で包まれました。京都での目標達成は5年ぶりで、昨年の1・5倍もの仲間を迎えています。寺島代議員は、「この到達は、歴史的情勢の下での青年の模索があって、それに応える私たちの主体的な奮闘によって築くことができた」と述べました。

寺島代議員は、高市早苗政権に期待すると話す青年も、要求実現や、「財界中心」「アメリカいいなり」という「二つの異常」との関係で思いを聞くとかみ合った対話になると指摘します。寺島代議員は「高市政権への期待も『いまの政治を変えてほしい』という思いから来ているもの」だと言います。同時に、「以前は高市政権に期待する青年は7～8割だった」が、「どちらでもない」が増え始めていると話し、「早くも高市政権の見方は変化してきている。これを加速させるのが民青同盟だ」と発言しました。

（2面につづく）

●第49回大会人事

第49回全国大会最終日に開かれた第一回中央委員会で、次の通り中央委員長と中央副委員長を含む7名の中央常任委員会を選出しました。

新役員

中央委員長　西川　龍平
中央副委員長　酒巻　眞世
中央常任委員　中山　歩美
　　青山　昂平
　　伊藤ナシカ
　　小泉伊知郎
　　早瀬　薫

発行所
日本民主青年同盟中央委員会
〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-20-2
電話(03)5772-5701 FAX(03)-5772-5702

日本民主青年同盟中央機関紙

定価　月680円 〒130円 1部340円
郵便振替00180-4-106690